

## 第33回 オーエンスレーガー賞受賞候補者推薦について

オーエンスレーガー賞は、1957年米国ゴム工業の権威者G. オーエンスレーガー氏の業績を記念するため、同未亡人が日本ゴム協会を通じて日本化学会に寄与した基金2,500ドルの利子から日本化学会および日本ゴム協会合同の賞として、1958年3月第1回から1996年3月第20回まで日本化学会年会において授与されてまいりました。その後第21回から、日本ゴム協会において単独で受賞候補者の選考及び贈呈を行うことになったものであります。

今回、第33回オーエンスレーガー賞受賞候補者推薦を下記により受付けますので、各位には広く受賞候補者の推薦をお願いいたします。

**受賞の対象** ゴムに関連する学術又は工業に貢献する貴重な積年の研究、又は顕著な累積的な業績のあった者に授与する。

**推薦の範囲** 受賞候補者は、本会の会員、各支部又は関連他学協会代表者から推薦されることを原則とする。

**推薦締切** 2021年11月30日（本会に必着）

※推薦用紙は、日本ゴム協会ホームページ「日本ゴム協会の概要」→「顕彰」→「推薦書・申請書」よりご使用いただけます。

**推 薦 先** 〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル

一般社団法人日本ゴム協会 オーエンスレーガー賞委員会

E-mail : office@srij.or.jp

### オーエンスレーガー賞受賞者選定規定

1. オーエンスレーガー賞（以下、本賞という）は、1957年米国ゴム工業の権威者である故オーエンスレーガー氏を記念するため、同未亡人が日本ゴム協会を通じて日本化学会に寄付した基金2,500ドルの利子から日本化学会および日本ゴム協会合同の賞として、1958年3月第1回より1996年3月第20回まで授与した。その後、日本ゴム協会において単独で選考および贈呈を行うことになったものである。
2. 本賞は、ゴムに関連する学術又は工業に貢献する貴重な積年の研究、又は顕著な累積的な業績のあった個人に授与する。
3. 本賞の授与数は、隔年1件以内とする。
4. 本賞受賞候補者は、日本ゴム協会の会員、各支部、又は関連他学協会代表者から推薦されることを原則とし、その締切は、授与される前年の11月30日とする。
5. 本賞受賞者の選考は、オーエンスレーガー賞委員会（以下、委員会という）において行う。
6. 委員会は、委員長1名、委員15名以上20名以内をもって組織し、毎年6月までに会員中より会長がこれを委嘱する。
7. 被推薦者は、委員になることができない。
8. 委員会は、推薦候補者中から受賞の価値があると認めたもの1件を出席委員の無記名投票によって選び、それに選定理由書を付けて会長に報告する。
9. 会長は、推薦された受賞候補者について理事会において決定する。
10. 本賞は、定時社員総会において公表し、表彰状、副賞および賞牌を授与する。
11. 委員長は、選考経過を定時社員総会において公表し、日本ゴム協会誌に発表する。
12. 候補者を推薦する場合は、推薦書とともに次の書類を添付しなければならない。

説明資料：研究及び業績のリスト、内容を具体的に説明した業績の概要説明書及び最も重要な論文等3編の別刷りあるいはコピー

（付則）

1. 本賞の副賞及び賞牌制作費は、横浜ゴム株式会社からの寄付をもってあてる。
2. 本規定は、1997年8月1日から実施する。

以 上